



# 金曾木だより

台東区根岸4-16-22 TEL 03(3876)3701 FAX 03(3871)9507  
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310218>

令和5年度 12月号  
台東区立金曾木小学校  
校長 細田 儀広  
令和5年11月30日

「自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子 自分のよさを伸ばす子」

## 今年の漢字～「刻」～

校長 細田 儀広

11月の金曾木小学校創立120周年記念式典は、PTAの皆様をはじめ地域関係者の皆様のおかげ様をもちまして、盛会のうちに終了することができました。当日は、式典前に行われた5年生の合唱と式典後の6年生のアラクションについて、出席された方より「子どもたちの発表がたいへん立派だった」という言葉をたくさんいただきました。子どもたちの姿を通して、金曾木小学校の良さを感じていただき嬉しく思います。

また、創立120周年記念の音楽会でも、保護者の皆様から子どもたちへたくさんの拍手をいただきました。目標に向かって個人やみんなと努力してきた成果を発表する場があり、その頑張りに対してたくさんの人から拍手をいただくことで、子どもたちの自己肯定感が高まりました。ご多用のところ、誠にありがとうございました。

さて、例年年末が近くなると、京都の清水寺で今年の漢字一字が発表されます。少し早いですが、私なりに今年1年間の金曾木小学校の教育活動を振り返って、漢字一字を考えました。私が考えた今年の漢字一字は「刻」です。

「刻」には、心にとどめる、記憶する、継続、進行していくという意味があります。2023年の金曾木小学校の学校行事の中心にあったのは、やはり金曾木小学校創立120周年でした。昨年度より計画を立てて、今年度に入って本格的に始動しました。

1学期には、バルーンリリースと航空写真の撮影を行いました。飛ばした風船に付けたメッセージを読んで、千葉県からお返事をいただいた時は、みんな嬉しそうでした。また、金曾木小学校の教育活動を思い出として残すため、クラスの写真撮影、一人一人自分の夢等を書いて、創立120周年記念誌を制作しました。

2学期には、お祝い集会を行いました。台東区やこの地元ならではのイベントとしたい、という想いから皆でお神輿を担ぐこと、お神輿には下谷七福神を乗せることを考えました。6年生が中心となり、なかよし班で分担して七福神を作りました。お神輿の土台は、町会の方からいただいたものを使わせていただきました。また、PTA主催の金曾木120FESでは、アルケミストの方と一緒に、未来の自分への応援歌「あの空」を全員で歌いました。そして、11月11日の記念式典。当日は、6年生が在校生代表として参加しましたが、朝のセレモニーでは全クラスの代表児童の下、全員で呼びかけを行い、「未来につなげ」を歌って金曾木小学校120周年を改めてお祝いしました。

私が小学生の頃、母校では創立60周年を迎え、同じように様々な行事がありました。特に手紙を付けた風船を一斉に飛ばして、後日、学校に返事の手紙が届いたことや、タイムカプセルに自画像の版画を入れたことは今でも覚えています。ちなみに、このタイムカプセルは創立100周年の時に開けられ、私も母校へ作品を取りに行きました。周年行事は、まだ小学生だった私の心にもしっかりと刻まれていました。金曾木小学校の子どもたちが大人になった時、金曾木小学校の思い出の一つとして、今年の周年行事の一つでも思い出してくれたら、企画・運営した教師として、これほど嬉しいことはありません。

周年の年が終わるにあたり、金曾木小学校創立120周年が、皆さんの記憶に刻まれることを願うと共に、末永く金曾木小学校を愛してくだされば幸いです。今年1年間、誠にありがとうございました。